

クラブ活動報告

夜空彩る大輪の花火とともに 新旧三役の慰労と家族の絆を深める納涼夜間例会を実施

新宮ロータリークラブ

当クラブでは8月11日、「新旧三役慰労・激励会&納涼家族夜間例会」を那智勝浦町の「サンライズ勝浦」にて開催しました。天候にも恵まれたこの日、会員およびそのご家族を合わせ65名が参加、19時に開会。山下会長から「当クラブは1956年4月の第1回例会より70年の期間をかけて奉仕の燈火を灯し続けて来たが、間もなく3333回を迎える。次の節目に向けてまた新たな一步を踏み出そう！」という挨拶があり、続いて、親睦活動委員長の進行で懇親会がスタート、美味しい料理に舌鼓を打ちながら歓談の花が咲く中、ゲストの子どもたちは手持ち花火で楽しみ、花火やおもちゃが当たるくじ引きが用意され、20時からの「那智勝浦花火大会」で会場は最高潮に達しました。また、参加者全員へ冷たいアイスクリームの嬉しい差し入れもあり、笑顔あふれるひとときとなりました。

やがて花火大会がフィナーレを迎える21時ごろ、瀬古前会長による閉会の挨拶をもって、今年度の納涼例会は盛会裏に幕を閉じました。前年度三役への感謝と新年度への士気を高め、ロータリアンの家族との親睦を一段と深めると同時に、次代のロータリアンにロータリーの活動の意義を伝える素晴らしい夜となりました。

